

平成 29 年度第 2 回神奈川県立横浜栄高等学校学校運営協議会（記録）

1 日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木） 14 時 00 分～16 時 10 分 場所：応接室

2 出席者 （敬称略・順不同）

委 員：鈴木武士（委員長）・世良正浩（副委員長）・大澤一郎・吉田敏生・齋藤晴通・内田久恵
（鈴木拓哉・深草伸一・竹谷康生の各委員は欠席）

学 校：西ヶ谷克彦・旗島経子・小泉邦弘・高木利也
（赤坂昌幸・黒沢なぎさ・高橋昭・佐藤治総括教諭は欠席）

3 協議会

(1) あいさつ

(2) 教育活動視察（三世代交流会）

(3) 第 1 回協議会での教育委員会要望に係る経過報告（教育委員会の回答等）

○ICT 環境の整備（無線 LAN 整備等）

……LAN 配線については継続検討。（プロジェクター（4 台）配当あり）

○書道室のエアコン設置……県全体の整備計画の中で設置検討。

○ALT の継続配置……人事的な面についての確約は不可。

(4) 学校運営協議会の組織について

評価部会長を内田委員とする。

(5) 本校の教育活動について 平成 29 年度教育活動の経過報告

①「自ら未来を切り拓く人材の育成」（鈴木校長）

論理的思考力とコミュニケーション力を備え、他と協働して課題を解決することのできる人材を育成することを目標として教育活動を展開している。

②「全体指導計画配慮事項」（西ヶ谷）

③「生徒による授業評価」（西ヶ谷）

(6) 学校運営についての協議

○三世代交流会ではどの会場でも生徒が真面目に取り組んでいた。地域に密着したよい取組である。学習活動を通じて進路実績の向上が求められていると思うが、この取組は生徒の視野を拡大し可能性を広げるといふ点で意義がある。一時的なイベントではなく継続していけば、災害時対応などを含めて、生徒の考える力が育つように思う。

○三世代交流は多くの地域で実施されているが、実態はシニア層が中心である。世代を超えてつながるきっかけを学校で作り出す意義は大きい。

○これからの社会に求められる力として、生徒のコミュニケーション力の向上を図ってほしい。授業を始め学校の教育活動の中で自分の考えをわかりやすく伝える、他の人の話を聞いて理解することを基本に対人スキルの向上を図る必要がある。最重要の情報は会話でしか得られないので会話を大切にす姿勢を持たせてほしい。

○栄区・港南区の高齢化が進んでいる。他校ではすでに実施しているので、栄高校も生徒の登下校時の交通指導を実施してほしい。

(7) その他

第 3 回学校運営協議会は 3 月に実施する。